

小森 陽一

石原 千秋

対談 漱石を開く

石原千秋氏(早稲田大学教授)、小森陽一氏(東京大学名誉教授)、日本文学研究者として、常に漱石研究をリードしてきたお二人の対談。

動画配信期間

2022.12.6 ~
2023.3.31

新宿区公式YouTubeチャンネル
「新宿区チャンネル」で **無料配信**



<https://youtu.be/FwDYuRWYShg>
(左二次元コード参照)

新宿は、夏目漱石が生まれ、代表作を執筆し、亡くなるまでの9年間を暮したまちです。その終焉の地・新宿区早稲田南町に建つ漱石山房記念館は、令和4年9月に開館5周年を迎えました。5周年を記念して開催したイベントの様態を期間限定で配信します。

開催・収録日／2022年9月23日
会場／牛込筆筈区民ホール

漱石を語る午後

新宿区立漱石山房記念館 開館5周年記念

文学座による朗読



新宿区信濃町にアトリエを構え、創設85周年を迎えた日本を代表する劇団「文学座」による朗読劇。ピアノ伴奏と共に迫力のある朗読を披露しています。

夏目漱石・オムニバス朗読劇

—「吾輩は猫である」「坊っちゃん」「草枕」「三四郎」「こころ」より—

新宿区立漱石山房記念館 開館5周年記念

漱石を語る午後 プログラム

◆ 主催者挨拶



新宿区長
吉住 健一

◆ 文学座による朗読

「夏目漱石・オムニバス朗読劇」

ー「吾輩は猫である」「坊っちゃん」「草枕」「三四郎」「こころ」よりー



瀬戸口 郁
(構成・出演)



西川 信廣
(構成・演出)

◆ 対談「漱石を開く」



石原千秋氏(写真右)・小森陽一氏(写真左)の対談。
1993年、お二人はともに雑誌「漱石研究」の編集を担当し、2005年の第18号まで発行されました。また、共著として『漱石激読』『なぜ漱石は終わらないのか』があり、多様な切り口で漱石文学を読み解いています。
今回の対談では、「坊っちゃん」「三四郎」「道草」などを引き合いに、作品が執筆された当時の時代背景を解説するとともに、漱石の人物像に関するお二人の見解を掘り下げました。

出演



郡山 冬果



細貝 光司



岡本 温子



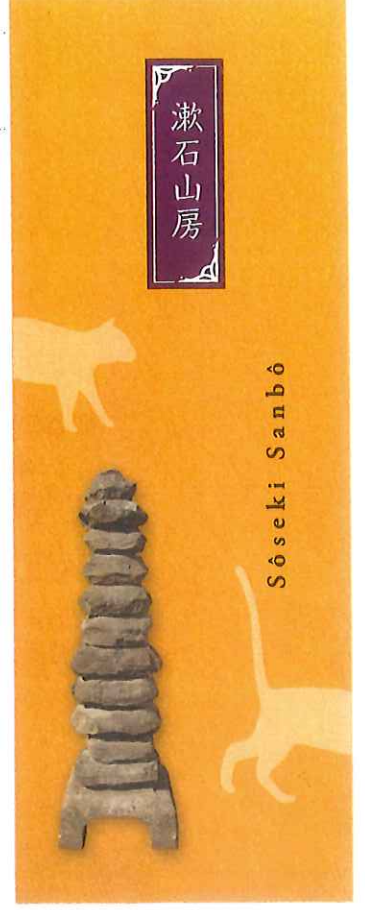
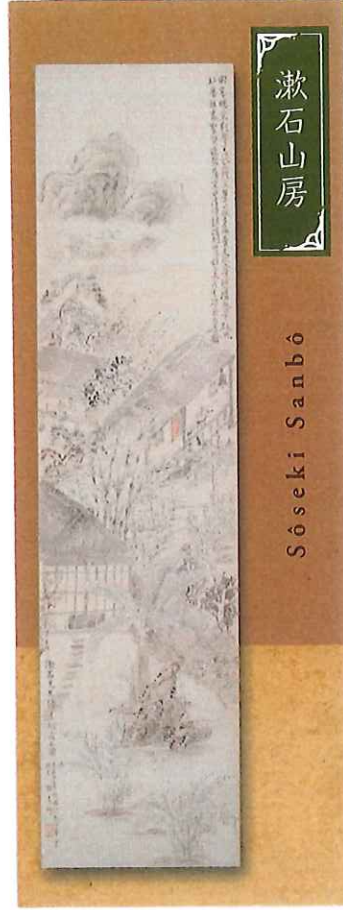
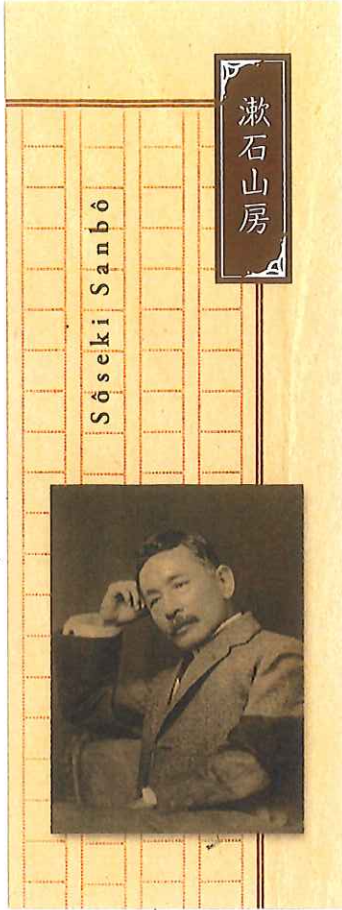
上田 亨
(音楽)

司会 岩田 理加子(朗読の会・ふみのしおり)

問合せ

新宿区文化観光産業部文化観光課文化資源係
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1 第1分庁舎6階
☎ 03-5273-4126 FAX 03-3209-1500





房山石漱

道草 みちくさ

三十七

漱石

兄 あに は 過 あやま 去 し の 人 ひと で あ っ ぽ。 華 は 美 あやう あ 前 ぜん 途 と は

も う 彼 かれ の 前 まえ に 横 よこ は っ っ ぬ あ う っ っ の 何 なん の

に 付 つ け っ 後 あと を 握 にぎ り っ っ 勝 かち っ 彼 かれ と 対 たい

ま し っ ぬ る 健 けん ミ は 自 じ 然 ぜん 其 その 湯 ゆ の 中 なか に 捲 ま き 上 う へ

ま れ あけ れ は あ う あ う っ っ。



She

She

She

She
She
She

平成27年12月22日

各 位

新宿区地域文化部文化観光課長
橋本 隆

(仮称)「漱石山房」記念館公式ホームページ開設のお知らせ

日頃より、新宿区の文化振興事業にご理解・ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

新宿区では、(仮称)「漱石山房」記念館（以下「記念館」という。）につきましては、夏目漱石生誕150周年にあたる平成29年9月の開館に向けて、漸く平成28年4月に建設工事に着工する運びとなりました。

さて、この度、記念館情報発信の一環として、記念館公式ホームページを公開しました。漱石と新宿区のつながりをはじめ、記念館の施設概要、イベント情報等を発信し、幅広い利用者の裾野を広げてまいります。

なお、現在は簡易版ですが、平成28年2月に本公開し、記念館に関する新しい情報を随時掲載してまいります。

引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○記念館ホームページアドレス

<http://soseki-museum.jp/>

< 担 当 >

新宿区地域文化部文化観光課文化資源係
石井

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1

電話 03(5273)4126

FAX 03(3209)1500

御 礼

謹 啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびは「新宿区夏目漱石記念施設整備基金」にご寄付を賜り、誠にありがとうございました。

ご厚志につきましては、夏目漱石初の本格的な記念施設となる（仮称）「漱石山房」記念館の建設及び資料購入のため、有効に活用させていただきます。

新宿区は、文豪夏目漱石の名にふさわしい記念館の整備に向けて、今後も真摯に取り組んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

略儀ながら書面にてご厚情に御礼申し上げますとともに、今後のご健勝とご発展を心よりお祈りいたします。

謹 白

新宿区長 吉 住 健 一

同封のしおりと本状裏面の『道草』草稿（『漱石全集』第二十六巻 道三十七 -1-3）は、新宿区が所有する資料を基に制作いたしました。ささやかではございますが、お納めください。



寄附金受領証明書

住 所 東京都新宿区大久保 1-6-12

株式会社未来投資不動産

氏 名 代表取締役 川嶋 謙一 様

金 額 ¥100,000-

新宿区の設置する「新宿区夏目漱石記念施設整備基金」へご寄附いただき、誠にありがとうございました。

寄附金として、上記金額を 平成 27 年 12 月 4 日 に領収いたしました。

なお、所得税及び住民税等の寄附金控除または寄附金税額控除等の適用を受けようとするときは、この証明書が必要になります。所得税の確定申告又は住民税の申告等を行う際に、この証明書を添付して申告してください。

平成 27 年 12 月 22 日

新宿区長 吉 住 健

